

東青 みどりの通信

NO. 89
平成21年
5月1日



東青地域県民局地域農林水産部
■ 普及指導室 ■

〒030-0801
青森市新町二丁目4-30 (tel 017-734-9965、fax 734-8305)
電子メール hi-nosui@pref.aomori.lg.jp

学生の創造的な起業発想に学ぼう！

東青地域県民局では、間近に迫った、東北新幹線新青森駅開業等をビジネスチャンスとして、学生と農商工との協働による農村起業の活性化を支援しています。

特に学生とのタイアップでは、起業が学生の持つ感性と創造的な起業発想に学ぼうというものです。

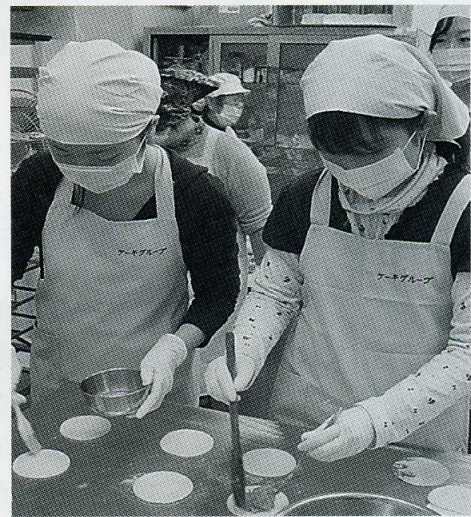
昨年度は、青森県立保健大学の学生が参加してくれることとなり、『一緒に起業・語って未来』をテーマに、『^{かた}だ^{って}起業・^{かた}語って未来』をテーマに、青森市の浪岡地域で農産物の収穫や加工などの体験をしてもらいました。

その後の振り返りで「りんごの実が、こんなにずっしりしてて、水分が多く、シャキッとして、美味しいものだ^と初めて知った」「農家の相当な研究と努力の跡が感じられる」「産直の売り子ならお手伝いできるかも。やってみたい！」「農家は、もう農産物をつくるだけの時代ではないようだ」「豆腐だんごは極旨！豆御膳はヘルシーだし、フリップにカロリーを表示してはどうか？」「道の駅で食育のイベントをやったらいい」など、75項目も率直な感想や提案をいただきました。

起業側（なみおか豆や、浪岡アップル友の会、

道の駅なみおかアップルヒル）も、学生との触れ合いで多くのことに気がきました。「この学生の提案を形にしたい。これからも学生と交流し、食育などの分野でも情報発信したい。」と県立保健大学に申し入れたところ、学生の活きた学びが期待できると、3月に「ヘルシープロジェクト友好提携協定」が締結されました。

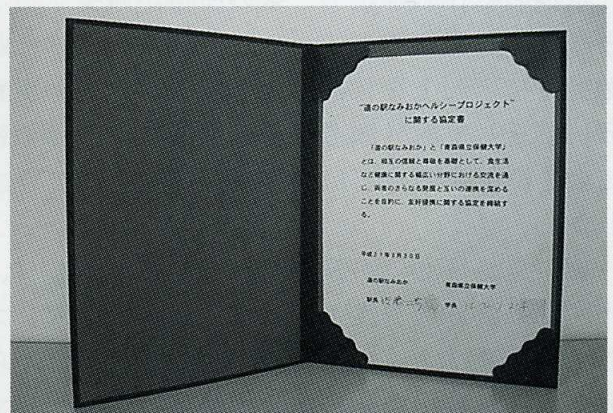
青森市浪岡地域の皆さんは、学生の斬新な発想を活かした魅力ある産直店舗づくり等を進めようと張り切っています。



加工場で売れ筋のアップルパイづくり



振り返りの時間です



青森県立保健大学との友好提携協定書

祝！青年農業者会議成果発表最優秀賞受章

川村 仁さん（青森市）



最優秀賞受賞

平成21年2月12日～13日に東北町の「小川原湖青年の家」に県内青年農業者と営農大学校生等68名が参加し平成20年度青森県青年農業者会議が開催され、各地区の代表10名が発表を行いました。その中で「トルコギキョウ後作にミニハボタン栽培にチャレンジ」について発表した当地区の川村仁さんが最優秀賞（青森県知事賞）受賞の荣誉に輝きました。



ミニ葉ボタンの生育調査中

栽培への挑戦だけでなく、市場販売や直売など販売方法を工夫した取り組みが評価されました。今年の11月4～6日に秋田県で開催される東北ブロック大会で青森県代表として発表することになっています。

東北大会で優勝し、全国大会にいけるように頑張ってくださいと思いますので、みんなで応援しましょう。

東青地区青年農業者士会結成30周年記念祝賀会開催！

昭和51年度に青森県の青年農業者士認定制度が始まりました。初年目に東青地区では青森市高田の北山公勇氏と蓬田村の八戸良幸氏の2名が認定されました。それから4年後の昭和54年、認定者が9名に増えたところで東青地区青年農業者士会が結成され、会の活動を開始しました。

水稲の転作の強化で、米の所得が減少するなど厳しい農業情勢の中、コスト低減に向けた勉強会や技術向上を目指した県内外の先進地視察研修、そして海外派遣研修に参加した会員の報告会を開催するなど広く事業展開を行ってきました。

会が発足後30年が経過した今年の3月6日、市内中華料理店でささやかな祝賀会を開催しました。年度末という多忙な時期にもかかわらず、外ヶ浜町長を始め多くの関係者が参加してください、祝賀会は大盛況でした。

当日は、工藤賢治会長の「次は40周年の祝賀会に向けてさらに活動を活発化していきたい」との決意表明があった後、外ヶ浜町森内町長からは「青年農業者士の活動を全面的にバックアップしていきたい。」という力強い激励の祝辞がありました。また参加者へは、東青地区青年農業者士会30周年記念誌と記念品として三十周年記念の文字入りの和手ぬぐいが贈呈されました。



普及指導室のスタッフを紹介します！

東青・南地域担当



副室長（総括主幹）
梅村 幸一



主幹
鎌田 龍司
【果樹・新規就農】



主査
工藤 マサ子
【生活】



技師
鈴木 宣建
【果樹】



技師
稗貫 雪音
※育児休業中

東青・南地域
青森市
平内町



室長
桜庭 守



主幹
神 俊成
【水稲】



主査
若宮 通子
【野菜・畑作】



技師
片山 伸也
【資金・水稲】

東青・北地域
今別町
外ヶ浜町
蓬田村

New



副室長（総括主幹）
小枝 均



主幹
館山 峰春
【野菜・畜産】

New



主幹
佐藤 隆志
【経営】



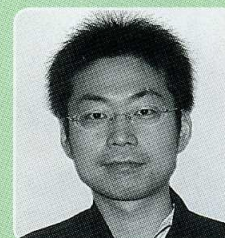
技師
鈴木 千春
【生活】



主幹
長村 芳枝
【花き・集落営農】



主査
飯田 久
【野菜・情報】



技師
松浦 孝幸
【畑作・水稲】

〈春の農作業安全運動〉

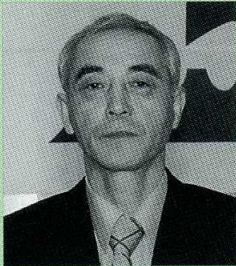
事故の多くは、トラクターでの転落・転倒です。作業時は、周囲に気をくばり、道路・ほ場の端に寄りすぎず、ほ場の出入りや畦畔越えは慎重に行いましょう。



■地域農業を担う新しいリーダー

新農業経営士、新VIC・ウーマン、新青年農業士を紹介します！

去る2月、東青管内では、それぞれ1名の農業経営士、VIC・ウーマン、青年農業士が県知事から認定を受けました。今後一層の活躍が期待されています。



農業経営士 さかもと のぶよし 坂本 信義さん (蓬田村)

就農当時の水稲単作経営から、仲間4人でハウス団地を設置し新たにトマト栽培に取り組み、水稲+トマトの蓬田村のモデル的な農業経営を実践しています。

農協のトマト部会長を10年間にわたって務め、有利販売に向けて全部会員でのエコファーマーの取得や部会創立10周年記念大会を開催するなど、地域リーダーとして蓬田村の「桃太郎トマト」の産地育成に貢献してきました。

水稲は全量クリーンライスに取り組み、トマトはブロワー受粉や2本仕立栽培を導入して省力化を図るなど、地域の牽引役として意欲的に経営改善に取り組んでいます。



VIC・ウーマン にしきや やすよ 錦谷 安代さん (青森市)

母から受け継いだ地域に伝わる伝統的な漬物の加工技術を大事にしつつ、消費者ニーズを取り入れた加工品を開発するなど、時代にあった販売戦略を持って取り組んでいます。生協での対面販売、インターネット販売、グリーン・ツーリズムなど、お客様の意見を聞きながら、新しい取組を開始するなど、着実に活動の幅を広げています。



青年農業士 きだち すすむ 木立 丞さん (平内町)

農業経営士である父純一氏と母、本人の3人で酪農経営を行っている。高校卒業後、北海道の酪農学園大学で学び、卒業後は国際農業者交流協会の海外派遣事業で1年間アメリカのウィスコンシン州で酪農を学びました。平成10年に研修を終えて実家に戻ってからは家業を手伝いながら家畜人工授精師、受精卵移植師の資格を取得、家業に役立ててきました。現在は木立家の酪農経営全般に携わって、経営を支えています。

〈山火事防止〉

山火事の発生原因の約67%はタバコの投げ捨て、たき火、火入れなどの不始末です。一人一人が注意し、恐ろしい山火事を防ぎましょう。

〈山菜取り等遭難事故防止〉

家族等に行動予定を連絡し、単独の入山はやめましょう。万が一に備えた装備をし、目先の収穫より安全を優先しましょう。

